

# 19 文学的な文章を読む

組		
番号		
氏名		

◇ 次の文章は、明治時代に書かれた「吾輩は猫である」の一部です。  
 これを読んで、問いに答えなさい。

「ここまでのあらずじ」吾輩は猫である。名前はまだない。笹原の中に捨てられた吾輩は、食べ物求めて忍び込んだある家に住み着くようになった。教師をしているその家の主人には様々な客があり、吾輩は、人間とは思議なものだと思いなながら、主人や来客の姿を観察している。

こう暑くては猫といえどもやりきれない。皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだといギリスのシドニー・スミスとかいう人が苦しがつたという話があるが、たとい骨だけにならなくともいいから、せめてこの淡灰色の斑入りの毛衣だけはちょっと洗い張りでもするか、もしくは当分のうち質にでも入れたいような気がする。人間から見たら猫などは年が年じゅう同じ顔をして、春夏秋冬一枚看板で押し通す、至って単純な無事な銭のかからない生涯を送っているように思われるかもしれないが、いくら猫だって相応に暑さ寒さの感じはある。たまには行水の一度ぐらいあびたくないこともないが、なにしろこの毛衣の上から湯を使った日にはかわかすのが容易なことでないから汗臭いのを我慢してこの年になるまで銭湯のれんをくぐったことはない。おりおりは団扇うちわでも使ってみようという気も起こらぬはないが、とにかく握ることができないのだからしかたがない。それを思うと人間はぜいたくなものだ。生で食ってしかるべきものをわざわざ煮てみたり焼いてみたり、酢に漬けてみたり、味噌みそをつけてみたり好んでよけいな手数をかけてお互いに恐悦おそしている。着物だってそうだ。猫のように一年じゅう同じ物を着通せというのは、不完全に生まれついた彼らにとって、ちと無理かもしれないが、なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさなくてものことだ。羊の御厄介ごやくわいになったり、蚕のお世話さなのおせわになったり、綿畑のお情けさえ受けるに至ってはぜいたくは無能の結果だと断言してもいいくらいだ。 (夏目漱石「吾輩は猫である」による。)

(注1) シドニー・スミスはイギリスの著作家

(注2) たといはたとえ。

(注3) 斑入りはまだら模様。

(注4) 洗い張りは洗濯してしわを伸ばすこと。

(注5) 質にでも入れたいは質屋にでも預けたい。

(注6) 年が年じゅうは一年中。

(注7) 一枚看板はここでは、一枚しかない衣服のこと。

(注8) 恐悦はひどく喜ぶこと。

(注9) 暮らさなくてものことだは暮らさなくてもすむことだ。

1 棒線部「羊の御厄介になったり、蚕のお世話になったり、綿畑のお情けさえ受ける」とありますが、この部分は、人間が何をどうすることを表したのですか。十字以内で書きなさい。

正答例 「衣服を着ること」(七字)  
〔服を着ること〕(六字)

2 山田さんと中川さんは、この文章で面白いと感じた点について話し合っています。次は、二人が【注目した表現】と【話し合いの一部】です。【話し合いの一部】で山田さんは、「③と④には、共通した面白さがあるよね。」と発言しています。あなたは、③と④には、どのような共通した面白さがあると考えますか。あなたの考えを、「注目した表現」③と【注目した表現】④には、「」に続けて、三十字以上、五十字以内で書きなさい。  
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【注目した表現】

①皮を脱いで、肉を脱いで骨だけで涼みたいものだといギリスのシドニー・スマスとかいう人が苦しがつたという話がある

②淡灰色の斑入りの毛衣だけはちよつと洗い張りでもするか、もしくはは当分のうち質にでも入れたいような気がする

③生で食ってしかるべきものをわざわざ煮てみたり、焼いてみたり、酢に漬けてみたり、味噌をつけてみたり好んでよけいな手数をかけてお互いに恐悦している

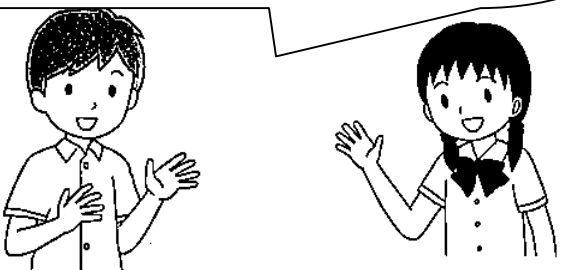
④なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ載せて暮らさなくてもいいことだ

【話し合いの一部】

山田 ①は猫なもの物知りで、人間でもあまり知らないよ  
うなことを知っているところ  
が面白い。

中川 ②は、できるはずのないことを、その気になればできるかのように語っているところが面白いと思う。

山田 ③と④には、共通した面白さがあるよね。



## 正答について

正答は、次の二つの条件を満たして解答しているものです。

- ①【注目した表現】③と【注目した表現】④に共通した面白さを適切に書いている。
- ②三十文字以上、五十字以内で書いている。

## 条件

【注目した表現】③と【注目した表現】④の二つの表現に共通した面白さをとらえるためには、ともに猫の眼から描いているということに加えて、人間の眼からみると当然である食事や衣服について、批判的な見方をしている、独創的なとらえ方をしている、大げさな表現をしているなど、内容や表現にわたる特徴に気付くことが求められます。その上で、自分の言葉で考えをまとめることが大切です。

## 正答例

【注目した表現】③と【注目した表現】④には、  
↓「どちらも、猫の眼から見た人間の食事や衣服について、とても変わったことのように大げさに描かれている。」(四十九字)

## 誤答について

「正答について」に示した二つの条件のいずれか一つでも満たしていないければ誤答とします。

誤答としては、例えば、次のようなものが考えられます。

- ・【注目した表現】③あるいは④の、一方にしか触れていないもの。
- ・本文の一部を引用しただけのもの。

(平成二十二年度 全国学力・学習状況調査 解説資料より)

正 答 率	
宮 城 県 平 均	
1	36.1%
2	63.9%
全 国 平 均	
1	35.5%
2	62.0%